

令和２年度 第２回 学校運営協議会

1 日時 令和２年１０月３０日（金）18:00～19:30

2 場所 布施高校文化会館

3 構成員

委員（出席者）

東大阪市立長栄中学校校長 北村 和久 様

八尾市立八尾中学校（夜間）教頭 辻 巧 様

（株）ベレーザコーポレーション 入江 孝史 様

星陵同窓会副会長 八木 佳奈枝 様

近畿大学アドミッションオフィサー 松浦 正明 様

本校より

准校長、教頭、事務部長、主査、首席・生徒指導主事、教務主任、進路指導主事、１年学年主任

委員（欠席者） 保護者会会長 大西 克子 様

4 内容

（１）准校長挨拶

「学校経営計画の進捗状況等、諸連絡」

（２）議題

① 令和２年度第１回授業アンケート結果について（７月実施）

- ・ アンケート結果は良好。①～⑨の９項目中、①～④は生徒自身の取り組みについての自己評価。⑤～⑦は教員のスキル、⑧⑨は生徒の満足度を表している。
- ・ 専任の教師で平均値は３．４以上という結果。これは、昨年度に実施したパッケージ研修を今年度は授業改善PTが主体となり実施している結果と捉えている。

② 生徒生活実態アンケート結果について（９月実施）

- ・ 生活実態調査については経年経過をとって、概ね変化なし。
- ・ 「学校生活についてどうですか？」の質問について、１・２年は「楽しい」が一定数いるが、３・４年は「楽しい」と答えている生徒が少なく、４年は「楽しい」の回答がなかった。
- ・ 「食事をとる回数」１日２食の生徒が大半、中には１日１食の生徒が各学年１名いる。

③ OSAKA スマホアンケート 2020 結果について（７１名対象に実施）

- ・ 「どれくらい生徒がスマホを使用しているのか？」「課金しているのか？」「個人情報をアッ

プしているのか？」などを調査。

- ・ 「1日にどれくらいインターネットを使用しているか。」の問いについて「5時間以上」と回答した生徒が一番多く35%を占めていた。その使用内容としては1位「Youtube」 2位「SNS」となっている。
- ・ 課金については5万円以上となる生徒がどの学年にもいた。
- ・ 「会ったことない人とインターネットでやりとりしたことがありますか？」の問いについては何度もあると回答した生徒が一定数いた。そして実際に会ったことがある生徒が少数いることも確認できた。

④ 学校教育自己診断アンケートについて（11月実施）

- ・ 昨年度、質問項目を大幅変更したので、今年に変更はなし。実施時期については、行事が未実施のため12月の考査後に実施予定。
- ・ 教師用についても変更なし。この結果は第3回の学校運営協議会で報告。

○ 質問 → 第1回授業アンケートに関して、今年度の授業はいつから開始されたのか？

○ 回答 → 6月1日から開始した。通常の授業は2カ月ほどしか実施できていない中でのアンケート結果ではある。

○ 意見 → 授業アンケートの結果が高いと思っている。授業が改善されているように感じる。

○ 回答 →

○ 質問 → OSAKA スマホアンケート 2020 の質問事項について。

課金についてこれまでの合計金額はいくらか？ またそれはいつから遡ってのことなのかで回答の受け取り方が違う。月単位でどれくらい課金しているかのほうが良いのではないか？

○ 回答 → このアンケートは教育庁から出たもの。貴重な意見として報告するよう検討します。

○ 質問 → OSAKA スマホアンケート 2020 の質問事項は男女別によって傾向が異なるので男女別の方が実態把握のためにはよいのではないか？

○ 回答 → 現在、社会的にLGBTの存在があること、また男女で分けることに課題も多い。これからの学校も含めた社会的な議題であるので、協議検討したい。追加情報としては今回の回答パターンは「男」「女」「答えたくない」の3回答で行っているが表には反映していない。

○ 質問 → 生徒生活実態アンケートによると年次が4年次になるにつれてクラス不和が見られたが、実態はどうか？

○ 回答 → アンケート結果だけでは一概に言えないが、LHRではクラス融和に関するホームルームも行っているが、今後の課題としてより一層の1年次からの一貫した指導が必要であるとする。

回答 → 学校が始まったのも遅く、行事も体育祭のみでクラスの融和を図る取組みが十分に行えなかった。今後、文化祭や修学旅行などの行事もあるので期待したい。

- 質問 → 食事をとる回数が1日1回との回答をする生徒が少なからずいる。布施高等学校定時制の課程でも給食はある方が生徒の為によいのではないか？
- 回答 → 給食の要不要については、全定時制・通信制の学校でも議論されており、様々な意見がある。本校は現在給食を休止しているがその理由として「喫食率の著しい低下や以前のような給食の実施が様々な理由で難しい」ことなどがあげられる。また、生徒にとっては自分で食べたいものを買って食べたい時間に食べる方がよいとの意見もある。全定時制・通信制の学校では生徒にむけてアンケートも実施しているが、そのような意見もあっても喫食率が著しく低く、生徒が望んでいない状態であり休止している。

(2) 報告等（各分掌の取組みについて）

◎ 進路指導部

① 就職関係

- ・ 就職受験職種 〈アパレルショップ・飲食店・人材の採用に関するコンサルタント業〉
- ・ インターンシップ・ジョブチャレはコロナ禍の影響で本年度は実施せず。
- ・ 放課後指導（一般常識/SPI/履歴書指導/面接指導/作文指導 など）
- ・ 就職希望者の応募前職場見学 15件
- ・ 一次応募者 3名（令和2年10月23日現在）

《本年度の動向》

本年度は、コロナ禍の影響により求人数の大幅な減少があった。また、それに伴い進路変更（就職から進学へ）余儀なくされた生徒もあり、進路選択を考えさせることが非常に困難であった。また、例年より安定志向が強い傾向があり、応募者数が多い企業にチャレンジする生徒もみられた。

② 進学関係

- ・ 進学予定先 〈大阪観光専門学校 エアポート専科 グランドハンドリング〉
〈修成建設専門学校 建築学部 住環境リノベーション学科〉
〈大阪デザイナー専門学校 イラストレーション科〉
- ・ 放課後指導（教科指導/小論文指導/レポート指導/面接指導）
- ・ 進学先が決定している生徒は、3名（令和2年10月23日現在）

《本年度の動向》

本年度は、専門学校を希望する生徒割合が増えた。また、在学中からの授業等もあり、入学後すぐに授業についていける学力・技術の養成が各専門学校で取り組まれている。

③ 進路実績（令和2年度10月23日現在）

- ・ 大学0名、短大0名、専門学校3名、就職決定数0名。

- 質問 → 外国籍生徒の進路指導について近年はどのような状況か？

- 回答 → 進学においては、過去に短期大学外国語コースなどに進学したケースはある。就職については、最終面接まで行ったが本人の意向で辞退したケースはあるも

の、ここ5～6年正社員雇用はない。また、多くの会社では日本語能力検定試験2級の資格がないと実際に会社に入って働くことは厳しいようで、最低限日常生活程度の指示が聞け、報告ができる能力がないと仕事ができない現状だと聞いている。さらに、外国籍の生徒は本国に帰る可能性もあり企業側も雇用しにくい面もあるようだ。しかし永住、定住の資格があれば就職の見込みは十分にあり、外国籍の生徒だから就職が難しいということはない。

○ 質問 → 昨年の進学・就学の%はどのようなものか？

○ 回答 → %では出していない。人数実績としては、大学2人、専門学校1名、就職6名、縁故就職3名など、就職を希望したが進路未定生徒は1名のみ。

◎ 生徒指導部

① 喫煙件数

- ・ 学校開始月の6月から現在までは3件で減少傾向。
(前年度の6月から10月末までは6件)

② 行事

- ・ 10月に行われた体育祭の出席率86%で増加傾向。(前年度73%)

③ 取組みと経過

ア 図書館利用者数

- ・ 一人当たりの図書館利用件数が昨年の約80%減少。6月の再開当初から一貫して指導している「授業を大切にする。」指導の成果とみられる。

イ 正門指導

- ・ 外出件数は56%減、帰宅件数は43%増。帰宅件数増加は新型コロナウイルス感染症予防の観点から体調不良の生徒を帰宅させたことも要因の一つとしてあげられます。

ウ 授業中のスマホ指導

- ・ スマホ使用率36%減。イヤホン使用率80%減。居眠り件数335%増。
※ 中抜け件数213%増。

④ 保健室利用状況

- ・ 42件増加、図書室利用減に伴い増加と考える。

⑤ 今後の課題

- ・ スマホ指導の結果の反面
- ・ 授業中の校外への外出
- ・ コロナの中行事のできる限りの実施

○ 質問 → 体育祭を見学した。終了後生徒がなかなか帰らなかった。生徒が楽しむような取組みが少ないのではないか。

○ 回答 → 生徒が帰らなかったことについては、むしろ名残惜しんでいるように感じた。また、今年度は片付けも多く生徒が参加し頑張っていたのが印象的であった。もちろん先生方の指導も影響していると思うがよい雰囲気であった。

◎ 教務部

① 学習指導員の活用

- ・ 週 10 時間、年間 200 時間確保。

② 土曜日授業

- ・ 全学年で 15～20 程の欠席。当初見込まれた欠席数よりは少なく出席状況は良好であり、普段から一貫した「授業を大切にする指導」の結果とみられるが、就業生徒が土曜の授業時間帯は仕事で登校できないという課題も一方で出ている。

【今後の学校運営協議会開催予定】

第 3 回 令和 3 年 1 月 22 日（金） 午後 6：00～7：30